

胃ポリープと診断されたら

▼ポリープとは？

⇒**イボのような隆起物！！** 良性腫瘍ということもあり、ほとんど心配はありません。胃・大腸の粘膜から内側に飛び出したイボのような出き物（隆起物病変）を全てポリープと言います。

▼ポリープと指摘されて心配…

⇒基本的には、**ほとんど治療の必要がなく、心配ありません！！** ポリープ自体には症状はないので、健康診断など胃の X 線造影検査（バリウム）や内視鏡検査などで偶然に発見されるケースがほとんどです。「癌なのでは」はたまた「いずれ癌になるのでは」と心配する人もいますが、そのほとんどは癌になることなく、かつ治療の必要もありません。しかし、胃ポリープは、ほとんど癌になる事はありませんが、まれにポリープから出血をし、2 cm以上になると癌化することもある為、精密検査が必要となります。

▼そこで胃カメラの検査を！！

⇒バリウムの検査は泡や食物残渣により、間違いでポリープと判断される事もあります。また、バリウム検査だけでは治療が必要なポリープかどうか？判断がつかない為、胃カメラを受けて、ポリープ等の病気があるかどうかの確認が必要です。

▼内視鏡検査でより詳しい検査と治療を！！

⇒胃カメラでは、胃粘膜を直接観察する事ができ、病変部分の形態や大きさ、色調などがバリウムとは異なりはっきりとわかります。さらに治療が必要なポリープかどうか？を判断します。また、必要があれば、その場で組織検査も可能であります。

胃のポリープの組織は、過形成性のポリープであり、ほとんどは大きくなり、治療の必要もありません。しかし、2 cm以上に大きくなると癌化する場合があるため、治療（切除）が必要です。一方、腺種性のポリープは腫瘍であり、放置すると大きくなり、癌化するので、小さなうちより切除が必要となります。

胃カメラの診断で、治療が必要とされた場合は、内視鏡（胃カメラ）での治療（切除）が可能であります。この場合も、ほとんどは入院も必要なく、外来での治療が可能であります。しかし、大きなポリープは入院が必要な場合もあり、定期的な観察（胃カメラ）が必要であります。

ポリープにはほとんど症状がなく発見されます！！！！

1年に1回の定期的な胃カメラをお勧めします！